

# 地域から 土木界の未来を考える

地域の土木事業者さんが生き残り  
人が集まる未来の土木になるために  
山・川・海を守り自給自足の会社・社会に

山 | 水をつくり 土をつくり 木をつくる

川 | 山の栄養を様々な生きものへ送る

海 | 山・川のつながりを受け入れる

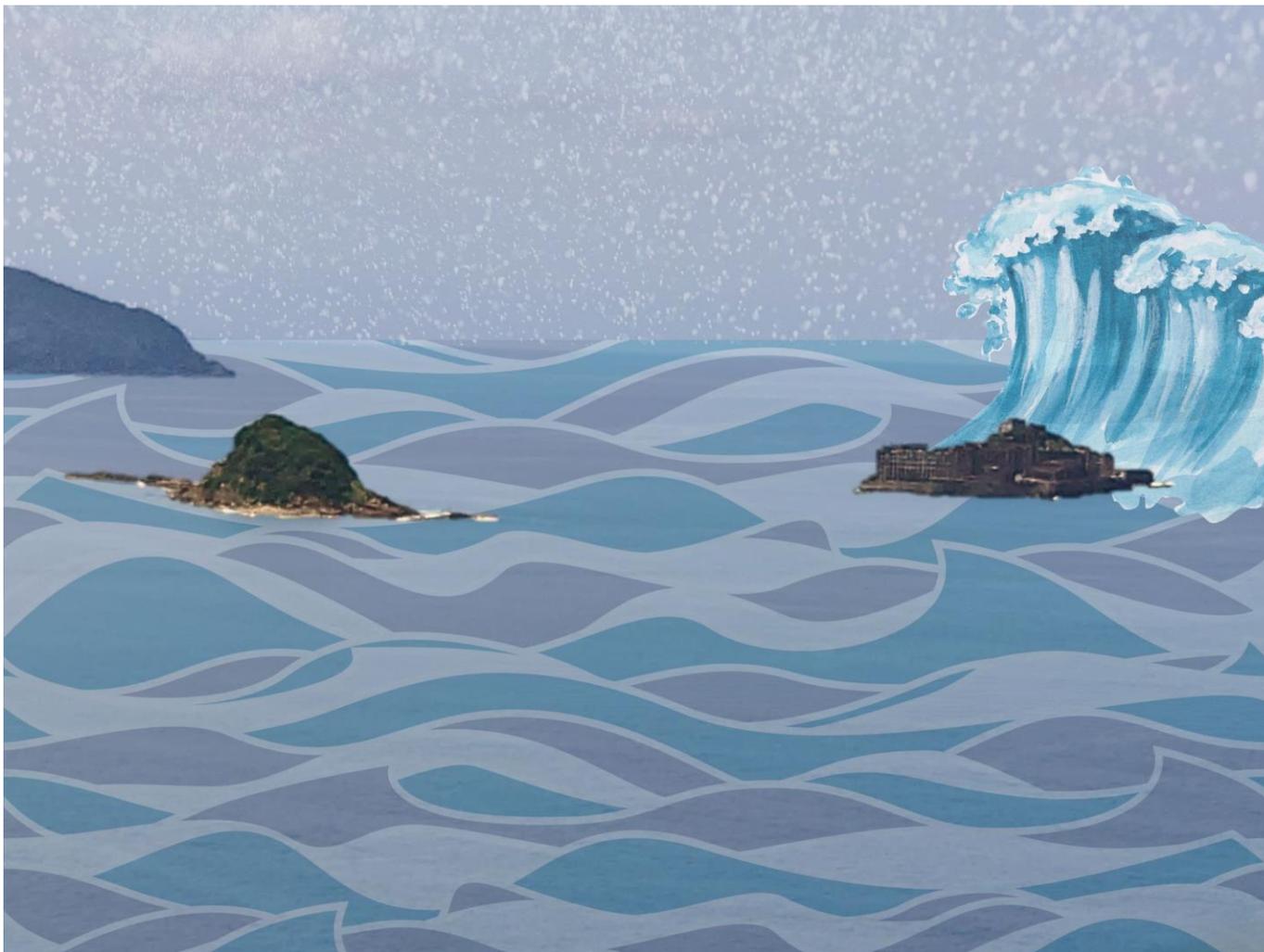
令和7年1月21日

株式会社 コイシ

取締役会長 小原文男

# 自然の驚異 | 人間は自然にかなわない

## 小学生の時 高島から見た軍艦島



▲小原が幼少期に故郷 **長崎県高島** で見た台風の高波を表している(左 | 中の島 右 | 軍艦島)

# 自己紹介

## ■ 生い立ち



### 0歳 出生

1954 2.11 福岡県田川郡糸田町生まれ

### 6～18歳

長崎県軍艦島〈端島〉の横の高島炭鉱で育つ

### 27歳 土木業界への原点

大分県佐賀関にある(株)安東建設様にて現場監督を経験

### 32歳 小原測量設立

1989.1 (有)平成測量設立

1995.2 (株)コイシに商号変更

### 70歳

2024.5.8 社長退任

# 地域〈大分〉での取り組み

## ■ 開催した勉強会 一覧

開催年	内容
平成元年 (1989)	第零回 大分県土木技術者勉強会 (大分商工会議所)
平成6年 (1994)	第一回 大分県土木技術者勉強会 (コンパルホール)
平成13年 (2001)	第二回 大分県土木技術者勉強会 (別府ビーコンプラザ)
平成27年 (2015)	土木で働く私たち in五ヶ山ダム ～土木がどうなっていくとやりがいが出るか!～
平成29年 (2017)	第一回 未来土木 ～人と自然とやりがいの共存を目指して～ (アスト国東)
平成30年 (2018)	第二回 九州未来土木 in博多 ～人と自然とやりがいの共存を目指して～ (JR九州ホール)
令和3年 (2021)	第三回 九州未来土木 in北九州 ～自然のしくみを学習すると山の手入れに辿り着く 土・水・木～



**これまでの取り組み①**  
**—大分県土木技術者勉強会—**

# 第零回 大分県土木技術者勉強会 <平成元年>

大分商工会議所で現場監督向けに開催 <参加者100名>

## 【テーマ】

これからは...

- パソコンが現場の七つ道具に  
(NEC9801)
- フロッピーカメラが主流に  
(SONYマピカ)



**特報** 遂に登場!!

土木用 DATA DISK NO. *Sewayaku*  
LOTUS 1 2 3 R2. 1J HEISEI SOKURYO Co., Ltd.

*Sewayaku* は平成測量が開発した土木専用ソフトの登録商標である。

土木支援システム

基準高計画表	出来形管理図
<p>説明</p> <p>道路に於ける基準高の計算を、縦断面図の各要素の変化点を入力するだけで、左端基準高、中央基準高、右端基準高を計算し、見やすい表で印刷します。</p> <p>入力要素①、工事概要 ②、ブレーキ ③、縦断面表 ④、平面要素(曲線) ⑤、掘り付け要素(片勾配) ⑥、盛り付け要素(加幅)</p> <p>特徴</p> <p>平面要素単曲線計算 クローズド計算 加幅計算率比例配分加幅計算 クローズド加幅計算</p> <p>特殊機能</p> <p>ブレーキ対応</p>	<p>説明</p> <p>基本要素を入力済みの、測定値を入力するだけで、図形とグラフが同時に印刷され、連続印刷出来るようになっています。(注：基準高管理図、及び縦断面図のみ設計値入力不要。)</p> <p>対応</p> <p>基準高管理図 縦断面管理図 構造物管理図</p> <p>特徴</p> <p>作図は、マウスを使って登録します。グラフが特性別で、カラー印刷されます。設計値が計算されているので、測定値を入力するだけです。(注：構造物管理図は、設計値を入力して頂きます。)</p>

▶現場のデータが保存可能な**土木専用ソフト『世話役』**—Lotusで作成—を3台販売

# 第一回 大分県土木技術者勉強会 〈平成6年〉

コンパルホールで応用地質(株)様向けに開催 〈参加者200名〉

【テーマ】 これからは**三次元の時代**

- 土質について | 軟岩Ⅱと中堅岩の見分け方他
- クロソイドカーブの線形の入れ方

第1回  
大分県土木技術者勉強会

日時： 平成6年8月20日 土曜日  
10:00~16:00

場所： 大分市コンパルホール  
3階 多目的ホール



内容： 1. 丁張り納付に伴う測量技術（クロソイドカーブ等）  
2. 現場で改良土質・岩の区別（弾性係数試験）  
3. 現場に於ける調査手技及び対策  
4. 土木技術者の横のつながり  
5. その他

詳細の内容は、随ってご連絡いたします。  
多数のご参加をお待ちしております。

主催（参加申込書送付先）  
〒870-01 大分市東堀野1805-1 第2岩本AP  
有限会社 平成建設 TEL 0975(56)0400  
TEL 0975(56)3026

第1回  
大分県土木技術者勉強会



株式会社コイシ

# 第二回 大分県土木技術者勉強会 〈平成13年〉

別府ビーコンプラザで開催 〈参加者300名〉  
— 丁張マン人気で多くご来場いただきました —

## 【テーマ】

- 「21世紀の土木」とは
- 地場の現場監督の生き残りについて

## 【ご来場者】

- 九州地方整備局  
企画部技術管理課様
  - 鹿島建設(株)土木技術本部様
  - (株)熊谷組知的財産部様
- 他



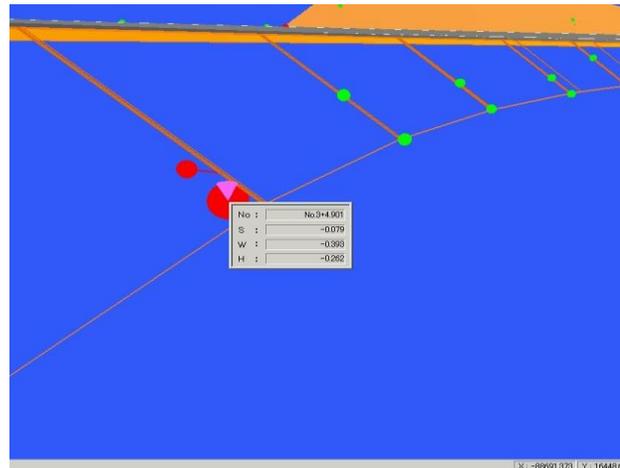
# みなさまから愛された「丁張マン」

## 土木を変えた弊社開発商品「丁張マン」

**【販売先・販売台数 累計】**  
**全都道府県をカバー！**  
 累計販売台数 約10,000台  
 累計販売金額 約2億円



旧のニーズから生まれた「丁張マン」シリーズ



1本の電話で初めて国土交通省本省の方と出会う 日本施工技術総合研究所様  
 道路土工における3Dデータ利用技術デモ  
 2002年11月(静岡県富士市)

2012年

国立研究開発法人 土木研究所  
 技術推進本部 先端技術チーム  
 上席研究員 新田 恭士 様

KOISHI-3D・丁張マンシリーズへの絶大な評価をいただき  
 代表的モデルケースとして紹介

▶ 丁張マンとは | 丁張の設置位置や施工の位置出し・管理点の確認を行うためのプログラムソフトを搭載した土木測量計算機



# これまでの取り組み②

## —土木で働く私たち—

# 第一回 土木で働く私たち in五ヶ山ダム 〈平成27年〉

五ヶ山ダムJV事務所で開催 〈参加者112名〉

【テーマ】 ● 土木がどうなっていくとやりがいが出られるか！  
● 知らないのは罪

2015  
8/10 [月] 12:00-13:00  
会場：五ヶ山ダムJV事務所、1階会議室

講演会 テーマ  
**土木で働く私たち**  
土木がどうなっていくとやりがいが出られるか！

講演者  
小原 文男 (株式会社コイシ 代表取締役)

1. 会社概要
2. 鹿島さんとの出会い
3. 稲葉ダム
4. 五ヶ山ダム・大分川ダム・鶴田ダム
5. これからの土木は、私たちが方向性を握っている
6. 土木学会100周年切手
7. まずは国東半島で
8. 次は、九州で
9. 自然を壊してきたのは事実だけど、自然を取り戻すのも私たちにしかできない
10. 最後に

お寿司の「すし寅」 12:40～  
(稲葉ダム・五ヶ山ダム・大分川ダムの懐かしい写真を見ながら)

講演を聞いてくださった方  
次分の美味しいお寿司を食べてください(150名まで)  
・お寿司を食べたい方  
・海鮮丼を食べたい方  
当日、交換チケットをお渡しいたします！  
コイシ社員にお申し付けください！

お申し込み先  
株式会社コイシ  
〒860-0001 大分県大分市大字町堀尾107-2  
Tel: 097-506-0400 Fax: 097-506-0500



# 土木で働く私たち | 伝えたかった思い

これからの土木の方向性は  
私たちが握っている

数字や利便性といった視点だけではなく  
起こりうる様々な問題も考慮すべき

現場で働いてきた・ものを造ってきた  
私たちがそのノウハウを  
未来の子どもたちに活かすべき

自然を壊してきたのは事実だが  
自然を取り戻すことができるのは私たち

長年私たちは  
雨・台風・雪・真夏日の中で  
自然と密着して仕事をしてきた

この体験値を  
これからの土木にどう活かしていくか？

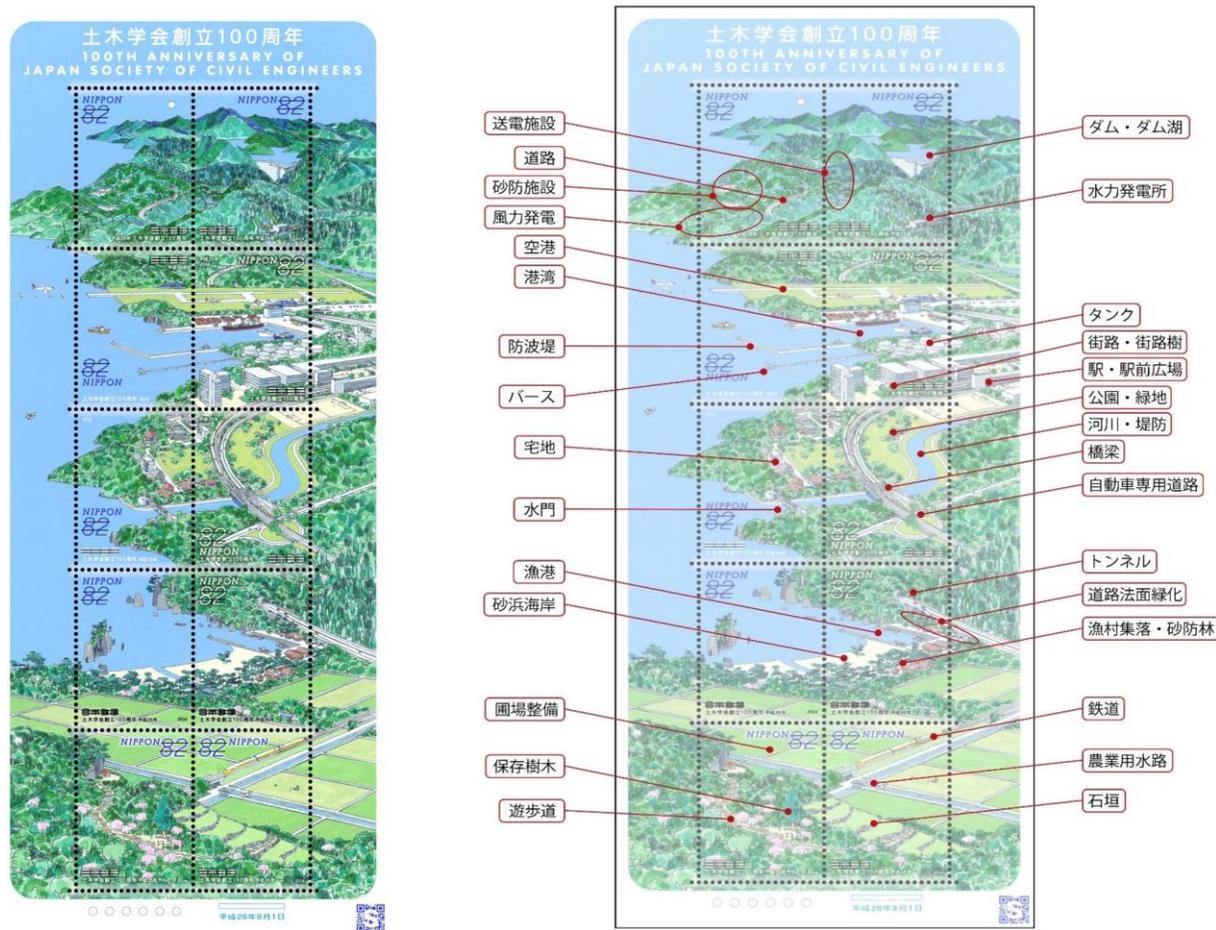
未来を担う若手が入ってくるようなやりがいのある土木にするために必要なこと

自分たちで知恵を出し、作業ミス・手戻りが起こらないよう仕事をわかりやすく簡素化

土木作業員の安全性向上と作業効率化のための開発  
▶重機ソナー ▶重機ナビ ▶用地境界ナビ

# 土木で働く私たち | 伝えたかった思い

特殊切手「土木学会創立100周年」に手本がある



▲特殊切手「土木学会創立100周年」に描かれている土木の仕事

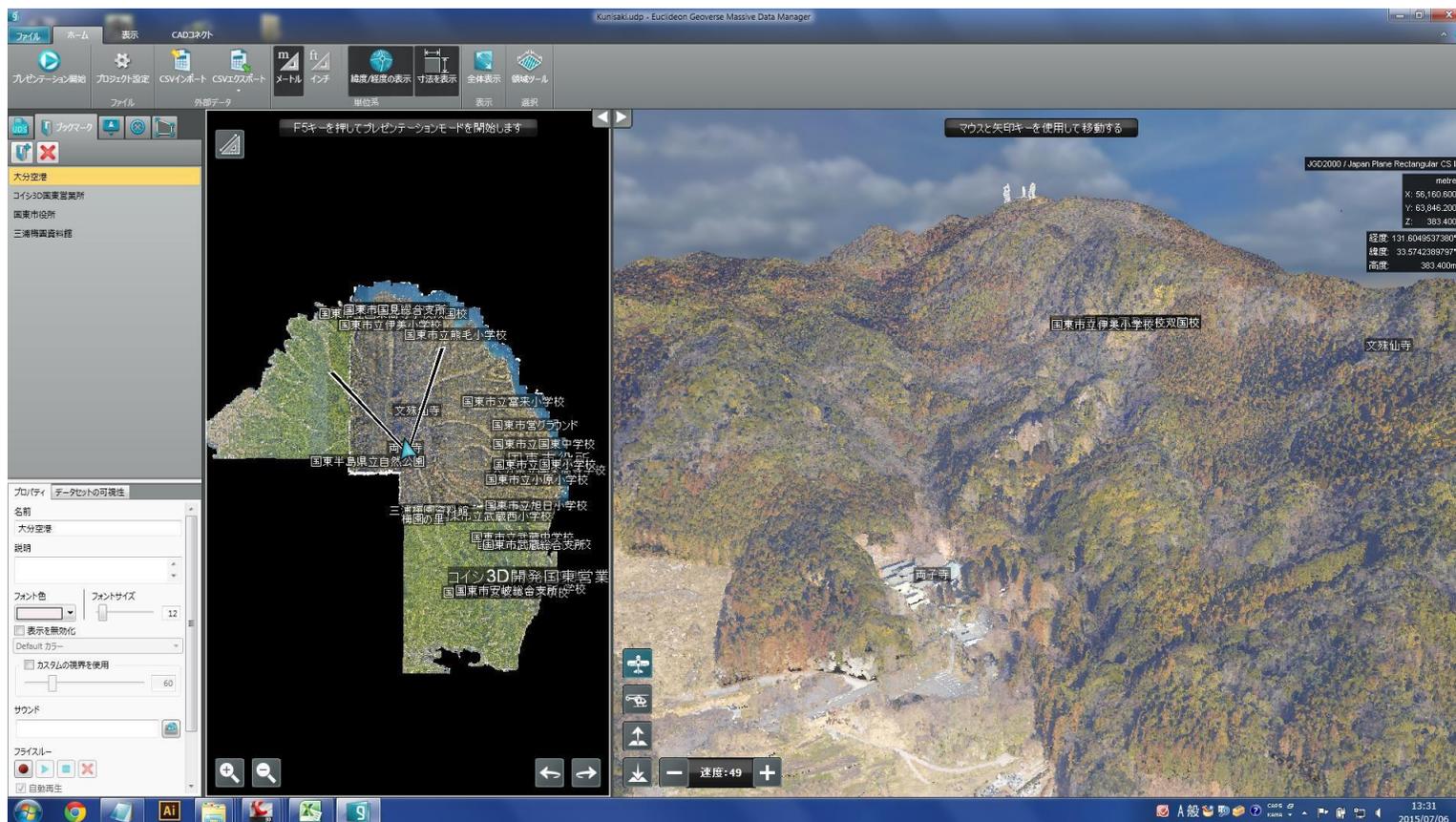
※参考 | 土木学会100周年記念事業アーカイブ

[https://jsce100.com/commemorative\\_stamp/index.html](https://jsce100.com/commemorative_stamp/index.html)

# 土木で働く私たち | 伝えたかった思い

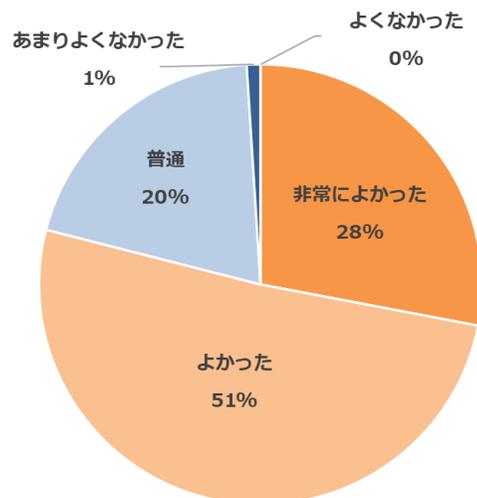
「何をしていくか」より  
**「私たちが住む地域がどうなっていくべきか」**

▼国東半島の計測データをご覧ください

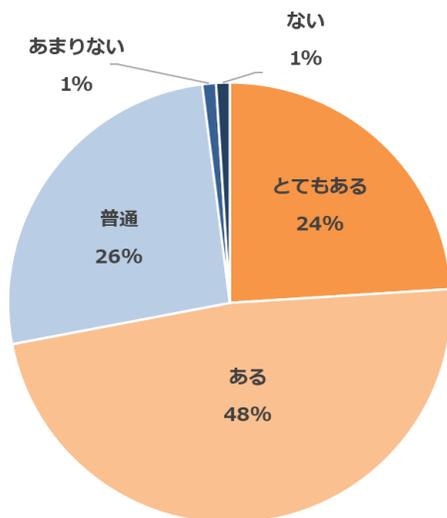


# 土木で働く私たち | 参加者の感想より

## ■ 講演の内容はいかがでしたか？



## ■ 土木の仕事はやりがいがありますか？



## ■ 講演へのご意見

- 考えるきっかけをいただき感謝
- これからも土木を続けていく上で、**考えを再認識**できるいい講演だった

## ■ 土木・土木の仕事への想い

- 仕事を**真剣に楽しく**していくことが大事だと思った
- 土木に対して**もっと考えて**いかなければならないと感じた
- 利便性を追求することも、基本を知ること**も必要**
- 維持・修繕等が増えると思うので、**全てにおいて簡素化・明確化**ができれば

## ■ 今後に向けての想い

- 自然を無駄に破壊せず**本当に必要な部分を開発**していき、周囲の自然に影響の少ない人と自然と動物等が**共存できる日本**でありたい
- 社会保険問題等を解決し、**若い職人が育つ**職場環境を望みたい
- これからも**土木のよさ**を日本中に宣伝してほしい



# これまでの取り組み③

## —未来土木—

# 第一回 未来土木 〈平成29年2月7日〉

くにさき総合文化センター 〈アストくにさき〉にて開催

【テーマ】人と自然とやりがいの共存を目指して

## ● 異業種からみた土木 ● 三浦梅園の哲学



国東市長 三河 明史氏

### 第1部

「『未来土木』というテーマのもとに、様々な分野の方々が集い、大変ユニークな講演会だと思います」と御挨拶頂きました。

### 生き様



### 第2部



代表取締役：小原 文男

### 女性から見た土木の世界



三浦学園資料館・研究員 浜田 豊氏

### 第3部

#### 【三浦梅園に学ぶこと】

これから先は、自然と一体となった、自然を活かしながら、人々の生活を豊かにする土木をみんなで作ってあげていくことで、土木も、地球もよくなるのでは。

### 異業種からみた土木



ライナー・九州文化研究家 田端 麗子氏とコイシ社員

### 第4部

#### 【女性から見た九州の土木】

大切なものは、誰も大切に扱います。「大切に」と気付けば、誰もがそこに愛を注ぐことができるのです。土木も「足元の芝生」。「足元の芝生の美しさを愛でよう」

### i-Construction



大分大学医学部付属臨床工学センター 教授 荒井 健氏

### 第3部

#### 【循環〜心臓と地球と土木と〜】

循環とは、物質・物体・概念・状態が繰り返しめぐり、まわることを指します。水の循環や大地の循環をはじめとして、地球にも循環があり、土木は「地球の循環の制御」。



(一社)日本建設機械施工協会 施工第三部 次長 山崎 崇氏

### 第4部

#### 【i-Construction ICT活用工事（土工）の概要】

i-Conが目指すべきものは、建設現場での死亡事故ゼロ。「きつい、危険、きたない」から「給与、休暇、希望」へ。



講演会当日の様子



(公助)北九州産業芸術推進機構 専務理事 松岡 俊和氏

### 第3部

#### 【サステイナブルな地域づくり】

土木も環境もひとりよがりにならず、様々な分野の中に、どんどん入り込み、狭い世界に閉じこもらず、社会をつくるメインプレーヤーとして、一緒に進んでいきたい。

詳細はwebで...

コイシニュース

検索

### ディスカッションの様子



会場設営中

# 第一回 未来土木 <平成29年2月7日>

## 未来土木

～人と自然とやりがいの共存を目指して～

日時 2017年 2月7日 火 13:00-17:00 (開場:11:00) 入場無料

会場 大分県国東市国東町鶴川160-2  
くにさき総合文化センター(アストくにさき)

- |             |  |                                 |
|-------------|--|---------------------------------|
| 13:00-13:10 | 挨拶 国東市市長 三河 明史 氏                         |                                 |
| <b>第1部</b>  | <b>生き様</b>                               |                                 |
| 13:10-13:40 | 三浦梅園資料館 研究員 浜田 晃 氏                       | 『三浦梅園に学ぶこと』                     |
| 13:40-14:10 | 鹿島建設 代表取締役 副社長執行役員 田代 民治 氏               | 『これからの土木技術者に期待すること』             |
| <b>第2部</b>  | <b>女性から見た土木の世界</b>                       |                                 |
| 14:20-15:00 | ライター・九州文化研究家 田端 慶子 氏                     | 『女性から見た九州の土木』                   |
| <b>第3部</b>  | <b>異業種から見た土木</b>                         |                                 |
| 15:10-15:40 | 大分大学医学部付属臨床工学センター 教授 穴井 博文 氏             | 『循環～心臓と地球と土木と～』                 |
| 15:40-16:10 | (公財)北九州産業学術推進機構 専務理事 松岡 俊和 氏             | 『サステイナブルな地域づくり』                 |
| <b>第4部</b>  | <b>i-Construction</b>                    |                                 |
| 16:10-16:40 | (一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 研究第三部 次長 藤島 崇 氏 | 『i-Construction ICT活用工事(土工)の概要』 |
| 16:40-16:50 | 挨拶 ㈱コイシ 代表取締役 小原 文男                      |                                 |

お問い合わせ・お申込み  
株式会社コイシ

TEL 097-506-0400 FAX 097-506-0500

住所 大分市大字横尾3617番2

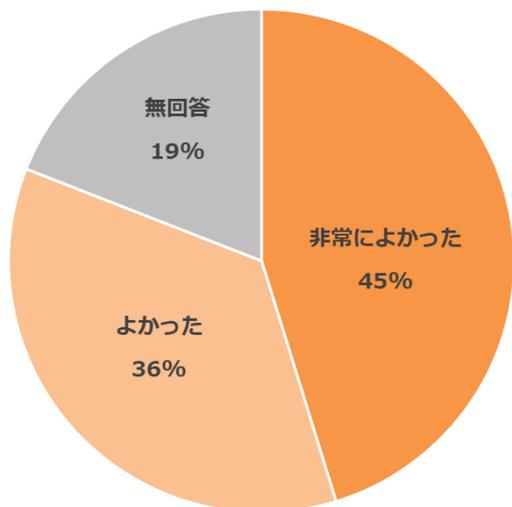
後援  
おおいた建設人材共育  
ネットワーク

土木と共に歩む  
KOISHI  
株式会社コイシ



# 第一回 未来土木 参加者の感想より

## ■ 講演の内容はいかがでしたか？



## ■ 講演へのご意見

- 大分県の土木未来を考える人々が語り合うスタートの場になった
- 様々な職業の方の視点が聞けたのでとても勉強になった
- 土木はすばらしいのだという熱いメッセージが発信されたイベントだった
- 土木に対する市民の皆さんの意見、感想を聞く機会を設ける企画に**新しい土木建設の姿**を見た

## ■ 土木への想い

- 女性又は一般の方が土木をイメージしにくい状況を**改めて感じた**
- 身近な土木となるよう**何が出来るか勉強したい**
- 様々な立場から「土木」の見方を教えて頂き、自らの**土木への関わり方を見直す良い機会**となった
- 夢、やりがい、使命を**再認識**することができた
- 自然との調和、経年経過を味わえる土木**
- 技術者としての楽しみを自分より若い人に伝える立場になったことを自覚して、**必ず次世代の技術者を育てたい**
- 土木（インフラ）は人間が生活する中において必ず必要なものだが、世の中の人々の認知度・理解度が低い中で、他業界からみた土木、講演を通じて気づくこともあるし、**社会活動の中で必要なものであると改めて思った**
- 大切な人を守る「土木の仕事」を少しでも**多くの人に伝えていきたい**

# 第二回 未来土木 in博多 <平成30年9月20日>

JR九州ホール <博多駅ビル9階> にて開催

【テーマ】 人と自然とやりがいの共存を目指して

「災害と土木」「技術者と科学者」「土木の学習と哲学」

- ・ 環境省に取り組んでいただきたい土木
- ・ 文科省に取り組んでいただきたい土木
- ・ そして、国交省の土木

～人と自然とやりがいの共存を目指して～  
「災害と土木」「技術者と科学者」「土木の学習と哲学」

**九州未来土木 in博多**

2018.09.20  
12:30～17:05 (開場 11:30)

会場  
JR九州ホール (博多駅ビル9階)

主催  
株式会社コイシ

後援  
大分県 公設民間共同建設技術情報センター  
公設大分県建設技術センター  
おまじか建設人材共有ネットワーク  
公設日本河川建設技術協会

協力  
環境省

入場無料

お問い合わせ・お申込み  
株式会社コイシ  
TEL:097-506-0400 FAX:097-506-0500  
住所 大分市大字橋尾 3617 番地 2

開会挨拶 小原 文男 (株)コイシ 代表取締役  
12:30～12:40

【第一部】産学官の産  
「赤色立体地図とは何か 平面が立体に見える表現が土木を変える」  
12:40～13:20 千葉 達朗 様  
アシア航測 (株) 代表取締役 / 赤色立体地図開発者

「土木エンジニアの哲学 ～海外プロジェクトを通じて～」  
13:20～14:00 今石 尚 様  
大成建設 (株) 土木本部 技術長 / 一社 / 日本建設業連合会 会員

【第二部】産学官の学  
「2038年南海トラフの巨大地震」  
14:00～14:30 尾池 和夫 様  
京都造形芸術大学 教授 / 元 京都大学 総長

「未来土木」  
14:30～15:10 島谷 幸宏 様  
九州大学 教授 / 元 国土交通省 筑後川事務所 所長

【第三部】産学官の官  
「AI・ロボットの導入に向けた 土木研究所の取組み」  
15:10～16:20 新田 恭士 様  
(国研) 土木研究所 筑後川事務所 筑後川事務所 チーム 上級研究員

「21世紀は“森・里・川・海”の復活をめざそう ～環瀬ダムが行った荒瀬ダムの撤去について～」  
16:20～17:00 奥田 直久 様  
環境省 大分県 サイバーセキュリティ 情報化推進官

挨拶 (株)コイシ 実行委員  
17:00～17:05

赤色立体地図とは何か

平面が立体に見える表現が土木を変える

アシア航測 (株) 千葉 達朗 様

土木エンジニアの哲学

～海外プロジェクトを通じて～

大成建設 (株) 今石 尚 様

2038年南海トラフの巨大地震技術者～科学者

京都造形芸術大学 尾池 和夫 様

未来土木

九州大学大学院 島谷 幸宏 様

AI・ロボットの導入に向けた土木研究所の取組み

(国研) 土木研究所 新田 恭士 様

21世紀は“森・里・川・海”の復活を目指そう

～環境省の支援した荒瀬ダムの撤去について～

環境省 奥田 直久 様



# 中村桂子さんとの出会い

弊社主催の勉強会でのご講演依頼をきっかけに**生命誌の観点**からご意見をいただいています

## ▼第3回 九州未来土木 in 北九州〈令和3年5月8日〉

**第3回 九州未来土木 in 北九州**

**2021.05.08**  
13:00～16:30 (開場 12:00)  
(12:00～13:00 三浦映画ビデオ放映)  
会場：北九州芸術劇場 大ホール  
主催：株式会社コイシ

**入場 無料**

開会挨拶  
13:00～13:10 小原 文男 (株)コイシ 代表取締役

【第一部】基調講演  
「山をつくる」  
13:10～14:00 松田 法子 様  
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授

「地方創生の土木」  
14:00～14:50 東京 正弘 様  
飛鳥建設株式会社 代表取締役 社長

「つくる時に成る力を活かす」  
14:50～15:40 中村 桂子 様  
JT 生命誌研究館 名誉館長

【第二部】質疑応答  
15:50～16:20

挨拶  
16:20～16:30 (株)コイシ

お問い合わせ・お申込み  
株式会社 **コイシ**  
TEL 097-506-0400 FAX 097-506-0500  
住所 大分市大字橋尾 3617 番地 2

自然のしくみを学習すると 山の手入れにたどり着く **土・水・木**



中村 桂子 様  
なかむらけいこ  
1936年1月1日生

JT 生命誌研究館 名誉館長  
1959年 東京大学理学部化学科卒業  
1964年 東京大学大学院生物化学専攻博士課程修了 (理学博士)  
1964年 国立予防衛生研究所 研究者  
1971年 三菱化成生命科学研究所社会生命科学研究室長  
1981年 三菱化成生命科学研究所人間自然部部長  
1989年 早稲田大学人間科学部教授  
1993年 JT 生命誌研究館副館長  
1995年 東京大学先端科学技術研究センター客員教授  
1996年 大塚大学建築大学院教授  
2002年 JT 生命誌研究館館長  
2020年 JT 生命誌研究館名誉館長



東京 正弘 様  
のりきょうまさひろ  
1935年4月4日生

飛鳥建設株式会社 代表取締役社長  
出身地 大阪府  
学 歴 1980年3月 京都大学大学院  
工学研究科交通土木工学専攻 修士課程修了  
1980年4月 飛鳥建設株式会社入社  
新河江ダム (山形県)、長谷ダム (兵庫県)、  
日吉ダム (京都府)、播上川ダム (福島県) の  
4つのダム工事に従事  
2012年6月 取締役兼執行役員 建設事業本部副本部長  
2014年4月 取締役兼常務執行役員 建設事業本部長  
2015年4月 取締役兼常務執行役員 土木事業本部長  
2016年4月 取締役兼執行役員副本部長  
2017年4月 代表取締役 社長 兼執行役員社長  
2017年6月 代表取締役 社長 兼執行役員社長  
主な社外団体役員等  
(一社) 日本建設業連合会 理事  
(一社) 東京建設協会 副会長  
(一社) 日本ダム協会 理事  
(一社) ダム工学会 副会長



松田 法子 様  
まつだのりこ

京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授  
博士 (学術)  
建築史・都市史  
京都府立大学大学院博士後期課程修了  
東京大学工学系研究科建築学専攻客員研究員、  
同研究科助教などを経て現職  
スイス連邦工科大学 (ETHZ) 建築学部客員研究員  
単著に「絵はがきの別府」(2012)  
共著に「危機と都市」(2017)、  
「変貌する都市のゆくえ 複雑の都市論」(2020) など。



小原 文男  
おはら ふみお  
1954年2月11日生

株式会社コイシ 代表取締役  
創業者 (福岡南方城生まれ、長崎県高島育ち)  
未来につながる仕事の一つに、  
山の手入れがあると知っている  
そこに、堂々と税金を使って、地域の土産農産物の  
地域の人たちと山・川・海を見つめおし、  
手をいれていく

## ▼コイシ塾《創立35周年記念講演》

35周年座談会

2023.2.13

生きものとしての土木

JT 生命誌研究館  
中村 桂子



北九州芸術劇場にて開催

【テーマ】自然のしくみを学習すると山の手入れに辿り着く **土・水・木**

# 今後の取り組みと展望

# これからの土木業界・各地域の発展のために

土木業界が変わっていき、地域が発展していくためには  
**自給自足できる会社づくりが必須**だと考えている

## ▼現在の取り組み

- ①地域の中学校・高校への出張授業
- ②地域の大学との研究開発
- ③山の三次元データの提供
- ④土木事業者さんとの『つちみずきの会』の勉強会

## ▶地域振興を目指した④の次の一歩として…

**土木版じゃらん〈地域の土木事業者のポータルサイト〉**を制作したい

背景 | 会社をたたむことを考えている社長が多い

目的 | 高校生・大学生に故郷で土木の技術者・職人として働いてもらいたい

# 地域の学校との連携 〈2022～2024年〉

## ▼出張授業



姫島中学校様



国東中学校様



国見中学校様



大分大学様



## ▲出張授業

## ▲課題研究 全7回 | 大分工業高等学校 土木課様

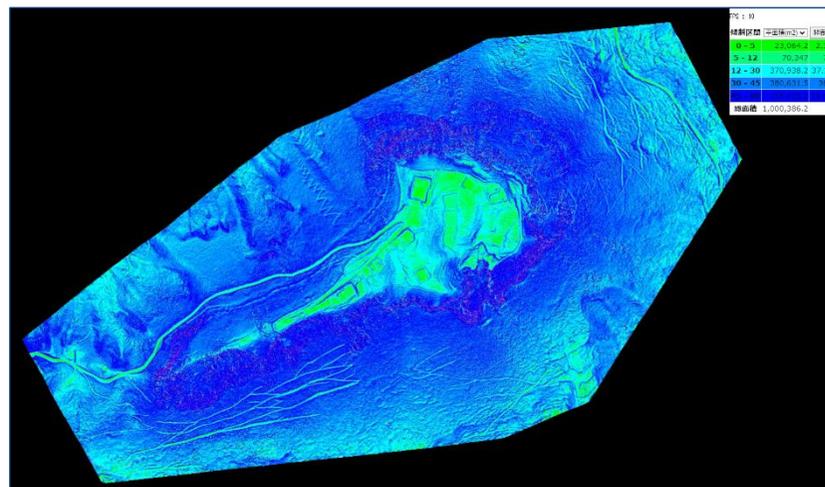
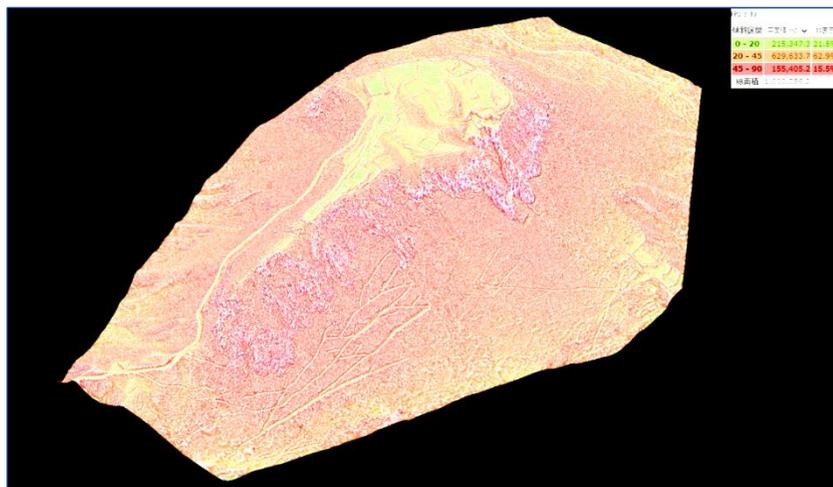
# 山の三次元データ化 | 四季色立体図

自然のしくみを見つめる・活用する



人工的なエネルギーに頼らない  
地球も生きものも豊かになっていく

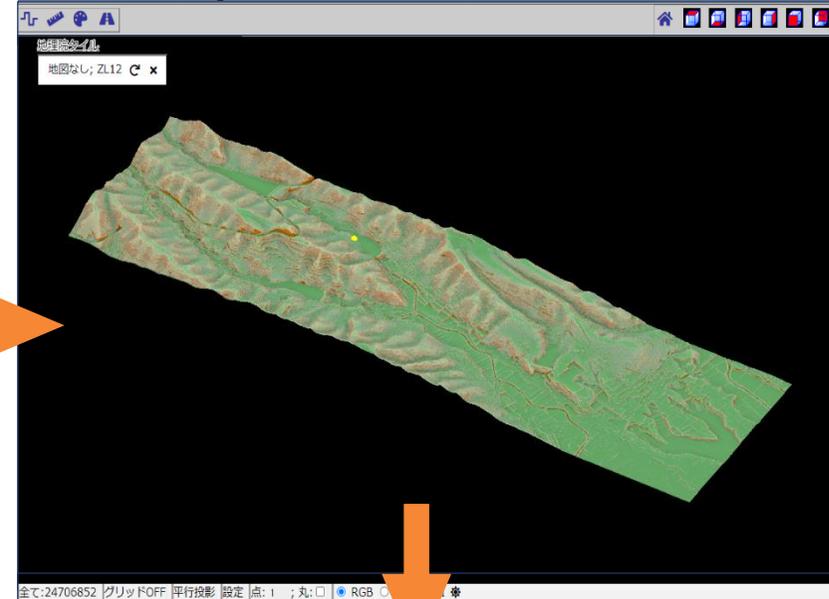
地球が呼吸している・生きていることがわかる地形  
「生きものとしての地図」を表現できたら



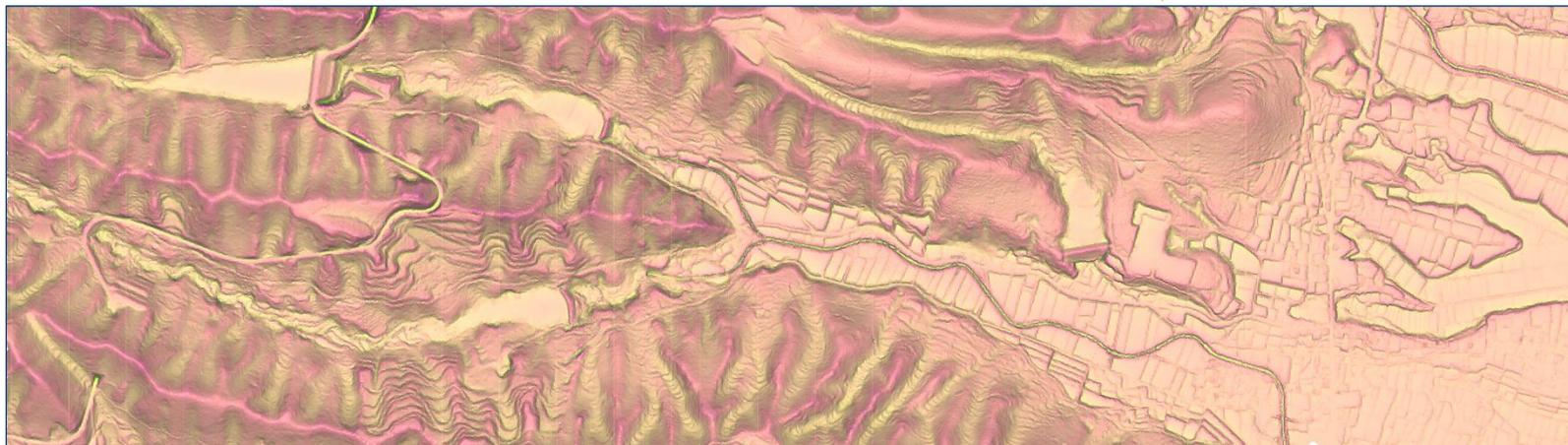
# 山の三次元データ化 | 生きている地形を表現



▼Koishi-Eye※で表示した点群データ



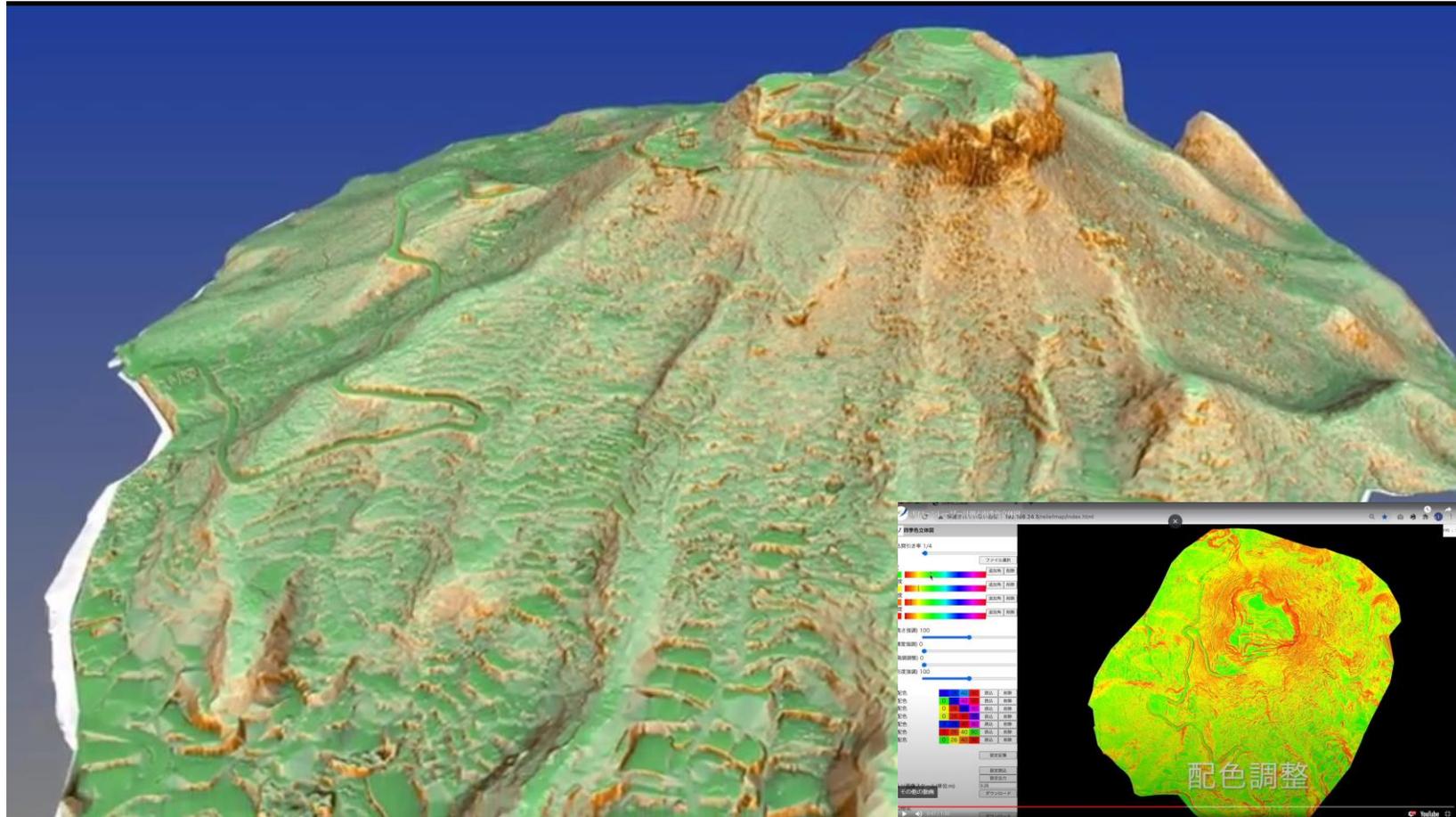
▼四季色立体図を用いた三次元モデル



※Koishi-Eye : Webブラウザ上で作動し三次元点群データや陰影起伏図の表示等マルチ機能を備えたコイシオリジナルソフト

# 山の三次元データ化 | 地元の遺構の計測

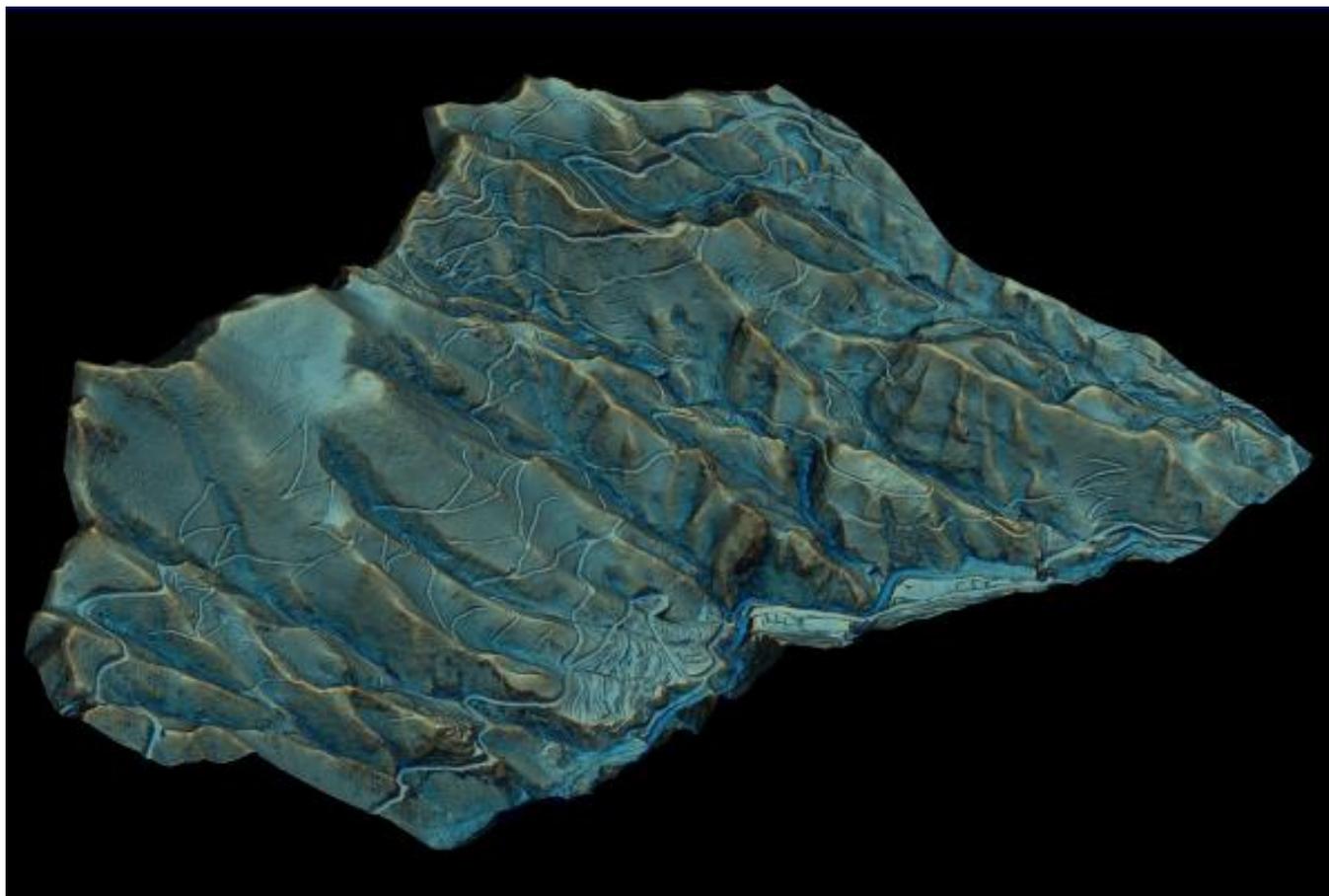
## ▼大分県玖珠町 角牟礼城跡地を計測



## ▲四季色立体図で表現

# 自給自足のために 山を知る

## ▼UAVレーザー計測 | 山林計測事例—陰影モデル—



弊社では**三次元計測**で得られた高密度・高精度な三次元点群データから地形の状況を三次元的に知ることができる**三次元モデル**を作成している

# つちみずきの会

## 土・水・木の会 —つちみずき—

末端《最前線》にいる  
日本全国の土建屋(地場建設業者)さんが  
自然のしくみを勉強し  
各地方ならではの郷土の知恵を入れ  
地方創生をしていく

令和4年1月11日  
株式会社コイシ  
代表取締役 小原 文男

# つちみずきの会 | 勉強会開催

## ▼つちみずきの会 勉強会のご案内資料

### つち・みず・き 勉強会開催

日時：令和4年1月11日（火）13：00～  
会場：国東アストホール

お困りのことはありませんか？

- コイシの失敗、あなたたちの数々の失敗を共有して、手戻りの無い工事やっていく
- 3Dの操作技術 (i-con) なら、技術スタッフが指導します
- 三浦梅園さんの哲学をみんなで学んでいきたい
- ドローン写真測量、ドローンレーザースキャナから、3D地形図も指導可能です
- 他府県同士の「地域の土建屋さん」なら、助け合いができるのでは
- 地域が考えるこれからの産・学・官のイメージ
- 丁張マンの技術なら手計算でお教えします

末梢（最前線）で働いている「地域の土建屋さん」が、現実に出ている問題を、一つひとつ聞きながら、私たち「地域の土建屋さん」たちで、助け合うことが出来ないかと考えている。日本全国で頑張っている「地域の土建屋さん」に声をかけていきたい！

一緒にがんばりましょう！

お問い合わせ・お申込み  
**株式会社 コイシ**  
TEL 097-506-0400 FAX 097-506-0500  
住所 大分市大字橋尾 3617 番 2

### つち・みず・き 勉強会開催

日時：令和4年1月11日（火）13：00～  
会場：国東アストホール

お困りのことはありませんか？

- コイシの失敗、あなたたちの数々の失敗を共有して、手戻りの無い工事やっていく
- 丁張マンの技術なら手計算でお教えします
- 3Dの操作技術 (i-con) なら、技術スタッフが指導します
- ドローン写真測量、ドローンレーザースキャナから、3D地形図も指導可能です
- 三浦梅園さんの哲学をみんなで学んでいきたい
- 他府県同士の「地域の土建屋さん」なら、助け合いができるのでは
- 地域が考えるこれからの産・学・官のイメージ

末梢（最前線）で働いている「地域の土建屋さん」が、現実に出ている問題を、一つひとつ聞きながら、私たち「地域の土建屋さん」たちで、助け合うことが出来ないかと考えている。日本全国で頑張っている「地域の土建屋さん」に声をかけていきたい。

お問い合わせ・お申込み  
**株式会社 コイシ**  
TEL 097-506-0400 FAX 097-506-0500  
住所 大分市大字橋尾 3617 番 2

### つち・みず・き 勉強会開催

日時：令和4年1月11日（火）13：00～  
会場：国東アストホール

- コイシの失敗、あなたたちの数々の失敗を共有して、手戻りの無い工事やっていく
- 丁張マンの技術なら手計算でお教えします
- 3Dの操作技術 (i-con) なら、技術スタッフが指導します
- ドローン写真測量、ドローンレーザースキャナから、3D地形図も指導可能です
- 三浦梅園さんの哲学をみんなで学んでいきたい
- 他府県同士の「地域の土建屋さん」なら、助け合いができるのでは
- 地域が考えるこれからの産・学・官のイメージ

地域の土建屋さん

人は大自然の産物で生きている。……だから、人はだれでも自然をもち豊かにすることが大切だ

お問い合わせ・お申込み  
**株式会社 コイシ**  
TEL 097-506-0400 FAX 097-506-0500  
住所 大分市大字橋尾 3617 番 2

# つちみずきの会 | 勉強会テーマ

<p><b>第1回</b> 2022年1月11日 開催</p>	<p>①元三浦梅園資料館 研究員 浜田 晃様 『梅園について』</p>	<p>②株式会社上瀧組 上瀧 直樹様 『3Dレーザスキャナの活用』</p>
<p><b>第2回</b> 2022年3月23日 開催</p>	<p>①元三浦梅園資料館 研究員 浜田 晃様 『価原に見る共生社会』</p>	<p>②株式会社コイシ 『丁張掛け』</p>
<p><b>第3回</b> 2022年4月21日 開催</p>	<p>①元三浦梅園資料館 研究員 浜田 晃様 『価原に見る共生社会』</p>	<p>②株式会社上瀧組 上瀧 直樹様 『ICTで生産性向上したらTAN価が下がる』</p>
<p><b>第4回</b> 2022年5月19日 開催</p>	<p>①元三浦梅園資料館 研究員 浜田 晃様 『価原に見る共生社会』</p>	<p>②株式会社上瀧組 上瀧 直樹様 『据えていいのは据えられる覚悟のある奴だけ、ゼロポイント』</p>
<p><b>第5回</b> 2022年6月23日 開催</p>	<p>①株式会社ニュージェック 高見 元久様 『地形・地質と環境との関係~地面の下を知れば、地表のことが見えてくる~』</p>	
<p><b>第6回</b> 2022年7月21日 開催</p>	<p>①地球守 高田 宏臣様 『国土環境を豊かに育む、これからの土木建設へ』</p>	
<p><b>第7回</b> 2022年8月24日 開催</p>	<p>①高知大学 環境社会学 森 明香様 『被災者はなぜ「球磨川は悪くない」と語ったのか』</p>	
<p><b>第8回</b> 2022年9月22日 開催</p>	<p>①株式会社ニュージェック 高見 元久様 『地形・地質と環境との関係 #2』</p>	<p>②株式会社MAX工業 宮原 辰光様 『国内産ドローンの可能性と今後』</p>

# つちみずきの会 | 勉強会テーマ

<b>第9回</b> 2022年11月30日 開催	①元三浦梅園資料館 研究員 浜田 晃様 <b>『東遊草』をめぐる歴史の断面</b>	②株式会社上瀧組 上瀧 直樹様 <b>『自称俺SUGEEEE!!!って言うヤツはたいしこないが、 敢えて俺SUGEEEE!!!って心の中で叫びたい』</b>
<b>第10回</b> 2023年5月18日 開催	①技術士・環境カウンセラー鷹村 憲司様 <b>『環境学ことはじめ～環境問題の複雑性～』 『自然と土木～自然の声を聞きながら土と水を動かす～』</b>	②元三浦梅園資料館 研究員 浜田 晃様 <b>『三浦梅園の「知足解」』</b>
<b>第11回</b> 2023年7月13日 開催	①元三浦梅園資料館 研究員 浜田 晃様 <b>『三浦梅園の「自然」と「人間」』</b>	②株式会社コイシ 他 <b>『台湾視察 報告会』</b>
<b>第12回</b> 2023年9月15日 開催	①元三浦梅園資料館 研究員 浜田 晃様 <b>『時代の課題と三浦梅園』</b>	②国立高雄師範大學地理學系 教授 劉淑恵様 <b>『台湾里山里海における ロハスとガンブ・スピリッツの話』</b>
<b>第13回</b> 2024年2月16日 開催	①株式会社正治組 大矢 洋平様 <b>『このままでいいのか建設業』</b>	②yasstyle 国土交通省ICTアドバイザー 松尾泰晴様 <b>『i-Constructionがもたらしたものの』</b>



▲元三浦梅園資料館  
研究員  
浜田 晃 様



▲株式会社上瀧組  
上瀧 直樹 様



▲技術士・環境カウンセラー  
鷹村 憲司 様



▲つちみずきの会 勉強会  
社内の様子

# 未来土木を創るために

小さい土建屋さんと  
未来土木を創っていくには…

良い考え・良い行動をしていく土木が  
必要な気がする

令和2年2月27日  
株式会社 コイシ  
代表取締役 小原文男

# 土木業界の到達点

三浦梅園の哲学・各地の郷土史を  
山・川・海に



中学・高校・大学

連携

地域の土木事業者

日本全国

地域の土木事業者にとってやりがいのある仕事の創出

# 夢の実現に向けて

**未来土木**の実現に向けて**地域の土木事業者さん**が助け合える**社会**になるよう**取り組みたい**こと

## ■ 地域で助け合いながら山・川・海の整備をしたい

地域の土木事業者さんと知恵を出し合い、子どもたちと山の掃除に、おじいちゃん・おばあちゃんと山の片付けに行けるよう準備していきたい

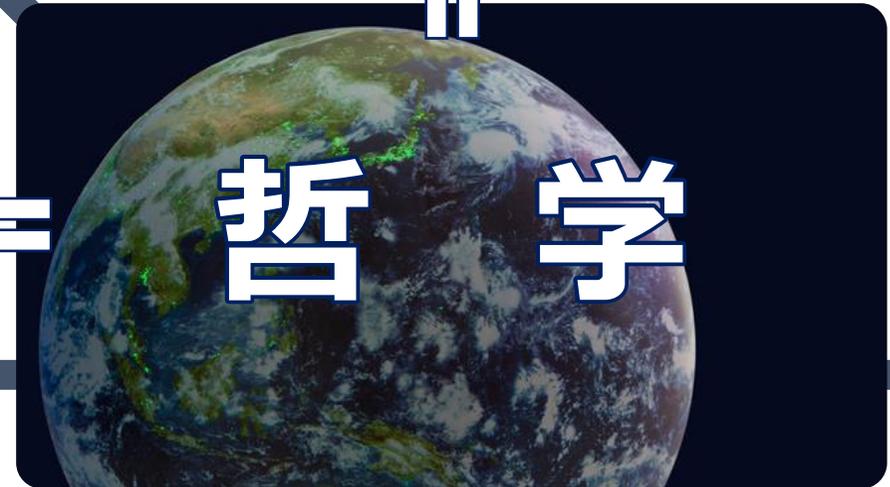
## ■ 山の手入れに税金が使えるしくみをつくりたい

山の手入という**価値のある**仕事に税金が使えるよう考えていきたい

## ■ 地域の土木事業者さんが学び、技術が使えるしくみをつくりたい

- ① 生命誌・技術を学べる場を作っていきたい
- ② 最新の技術が使えるよう、三次元化に必要なドローン他機材やソフト〈弊社開発の四季色立体図やKOISHI-Eye〉・重機ソナーなどを開発しながら提供していきたい
- ③ 一緒に哲学を学び、皆が幸せになっていく人間の道について考えていきたい

# 世の中の流れをこうしたい 土木をこうしたい



=

=

||

||

X

# 今後への想い

## 今までの土木

どうしたら地域が発展していくか？

新幹線・高速道路の開通・空港の開港など

## これからの土木

- インフラの維持補修
- 価値ある税金の使い方

付加価値を高めていく**土木**をみんなで考えていきたい

→ 自然のしくみ〈恵〉を学び 自然のしくみにのった土木  
に取り組むことが**最高の付加価値**を生むと信じている

**つちみずきの会**で**日本全国の土木事業者さん**が繋がっていく  
ことができれば嬉しく思います

# 大分国東・門司港の清虚菩薩さん

## 2か所の清虚菩薩像



門司港(福岡県北九州市)



国見清虚像

国見権現崎  
航空写真モデル  
(南西より)

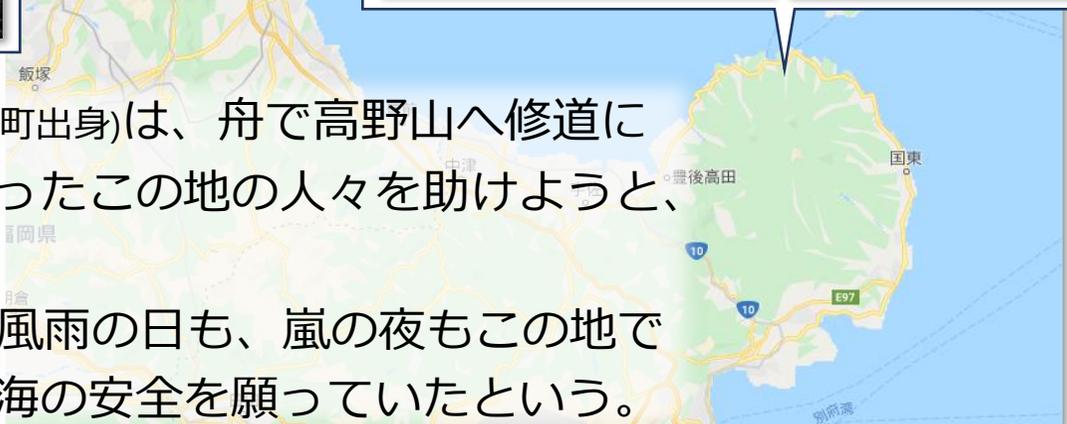
大分県国東市国見町



せいきよ

1836年、僧侶 **清虚**(大分県国東市国見町出身)は、舟で高野山へ修道に向かう途中、暗礁が多く難所であったこの地の人々を助けようと、修行を志半ばにして下船した。

その後74歳でこの世を去るまで、風雨の日も、嵐の夜もこの地で火を焚き続け、お経を唱えながら海の安全を願っていたという。



**コイシ**は清虚菩薩さんのたいまつを海ではなく山に照らしていきたい。みなさんよろしくお願いします。